



▲空調室外機の日よけ。これだけで随分と効果が上がる！



▲場内の様子を見ながら空調や換気扇を細かく設定。



統括責任者がリーダーシップ発揮

サービス業として当然、お客様の快適性は必須。しかし、全店で年間数億円もする電気料金も放置はできない。「会社の理念や節電要請もあり、担当者としての責任の大きさを感じましたね」と本部で全16店舗を統括する西山課長。各支店長のコスト意識を高め、コスト削減につなげることは重要な仕事だ。

まずは、全店舗にデマンド監視装置を設置。現状を把握することから始めた。全店舗のデータは真つ先に西山課長に届けられ、くまなく目が通される。本部として全体の状況を把握することは重要だ。そして、毎月全店舗の店長会議では、各店舗の電気使用量の前年対比を提示し、節電意識を高める努力をしている。「毎回各店長に前年対比の資料を配布しています。嫌でも意識させられますよね（笑）」と西山課長。各店の目標は全ての店舗で毎月前年度を下回ること。目標が達成できていない店舗には、「やればできる」とはつばをかける。そして、どうすれば現状を改善できるのか店長の相談に乗り具体策をアドバイスしている。西山課長のリーダーシップが、省エネ推進の原動力だ。

パチンコ店の挑戦！ 本部と現場の連携で省エネを実現。

現場でのきめ細やかな 空調の換気運転

取り組みは大きくわけて3つ①空調温度を28度に設定。『室内環境を良好に保つ』という条件で、集客数やその日の気温なども配慮しながら、きめ細やかな対応を行った。さらに、複数ある空調を必要最低台数で運転、吐き出し口の風向の変更、サーキュレーターの使用、無料のうちわを配布するなど節電のPRも②省エネ効果の高い全熱交換式換気扇を採用。タバコの排煙のための換気は必要だが、室内の冷えた空気を逃がすのはもったいないので、全熱交換機で外気を少し冷やして取り込んだ。そして、この換気扇も、室内環境をみながら快適性を損なわないように必要最低限で運転している③空調室外機への対策。まずは日よけを設置し、ピーク時に散水。室外機を冷やすことで効率のいい冷房運転ができるようになった。

また、デマンドの低減も重要な課題。例えば、夕方の時間帯に最もデマンドが出ていた店舗に、夕方前に店内の温度をグッと下げた後空調を1台停止させ、タイミングをずらして外灯を点灯するという対策を行い、デマンドを低減することに成功した。

現場の状況に応じた施設管理で、お客様の快適性も失うことなく節電・省エネに取り組む企業姿勢が何より素晴らしい。



▶配布用のうちわでエコ意識を高めてもらっている。

取り組んでみて

業務部

西山 和美さん

各店舗の責任者が一緒になって取り組んでくれますし、状況に応じた細やかな対応で実現できています。“もっとできる”という精神を持って今後も取り組んでいきます。



愛染興業株式会社

香川県高松市塩上町 1-6-17
☎087-835-3338
<http://www.aizen-p.co.jp/>

業種：遊技場（パチンコ）